②第１分科会

新規導入　起業教育ワークショップ
「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」の活用

大阪商業大学　経済学部　准教授
起業教育委員会　委員長　柴田　孝

2018年度で第17回目となる「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」は、全国の高校生を対象として、大阪商業大学が毎日新聞社と共催で実施しているビジネスアイディアコンテストです。このコンテストをはじめ大阪商業大学では起業教育に長年取り組んできていますが、この起業教育は、社長になることや起業することを目標としたものではなく、『①自立性・チャレンジ精神・創造性・積極性・探究心といった「アントレプレナーシップ」、②決断力・リーダーシップ力・情報収集分析能力・判断力・問題解決能力・行動力といった「起業家的資質・能力」の２つをもつ人材を育成することを目的として取り組んできたものを指す。実学教育の蓄積を基礎に、ただ大学の中だけで完結するのではなく、広く地域社会や高等学校との連携を意識し、大阪商業大学だけでなく、高大連携・地域連携もふまえた取り組みとして行ってきた（柴田・林（2017） p.44より引用）』ものです。

第22回起業教育研究会の第１分科会では、このコンテストへの参加を検討いただいている先生方に、コンテストの概要説明と取り組む意義や、社会が学生に期待する能力について紹介させていただきました。

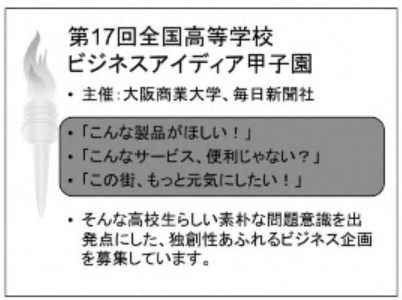
またビジネスアイディア甲子園に応募しようとする高校生の皆さんを対象とする説明会資料についても紹介させていただきました（スライド資料は本稿の後に掲載しています）。商品やサービスが生み出されることで世の中がどう変わったか、またビジネス上の成功がどのように社会に貢献しているかといった話からはじめて、ビジネスアイディア甲子園の過去の入賞作品についての解説やアイディア発想の方法である４Ｆ（不満・不足・不十分・不便）について解説を行っています。

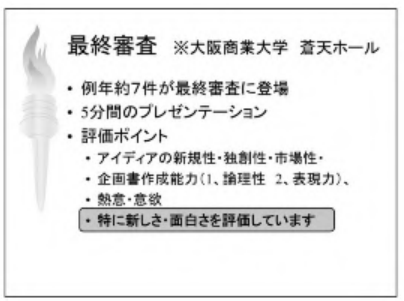
全国高等学校ビジネスアイディア甲子園に取り組むことは、単に新しいビジネスを発想するということにとどまらず、それまでの消費者であった高校生諸君が、生産者・供給者の視点にたち、世の中のニーズ（解決すべき課題）を考え、それをどのように解決するのか具体的に考案するという点で、社会が求める問題解決能力の涵養に貢献できると考えています。本年度のコンテストは応募を締め切っておりますが、次年度も開催予定ですので、次年度の参加をご検討いただけましたら幸いです。

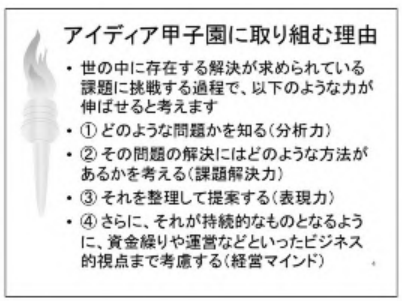
引用文献

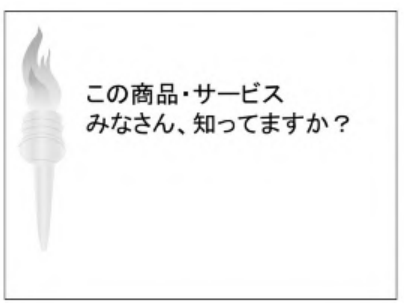
柴田・林（2017）「大学におけるアクティブラーニング取組事例」『起業教育』第９巻 pp.44-49

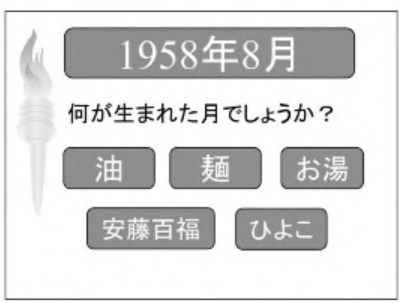












1958年8月

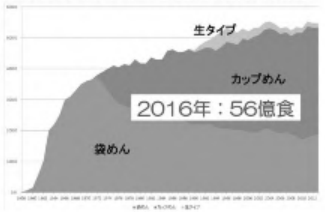


世界初の即席麺

チキンラーメンが誕生しました

即席麺生産数量の推移

データ出所：一般社団法人 日本即席食品工業協会「即席麺需要」
あれこれデータ集 第4章即席めんの生産数量の推移（年度別）単位 千万食



チキンラーメン開発の狙い

- 戦後の焼け跡の屋台に一杯のラーメンを求めて長い行列を作る人々の姿をみて・・・

・「もっと手軽にラーメンを食べられないものか」

- 家で手軽に食べられるインスタントラーメンの開発に取り組む。

出所：大阪商業大学起業教育研究会「起業教育ワークブック」編集委員会編（2015）「高校生のための起業教育ワークブック」第1章「新しい商品・サービスの開発と起業家精神」p.27（掲載の資料はワークブックを参照）

1976年1月

何が生まれた月でしょうか？

小倉昌男　小包　個人から個人へ送ることもOK

トラック　猫

1976年1月



ヤマト運輸の宅急便が誕生しました

・「宅急便」はヤマト運輸（株）の 登録商標

まったく新しいサービス・・・「宅急便」

- 「宅急便」を含む宅配便市場は全体で年間40億1861万 個（H28年度）に成長

出所：国土交通省「平成28年度宅配便取扱実績について」平成29年7月28日付報道発表資料

- いつできた？ 1976年1月20日サービス開始
- それまでは？ ① 郵便局 に持参（6kgまで）
  ② 国鉄の駅 に持参

参考資料：ヤマト運輸（株）HP「宅急便 40 年のあゆみ」

「クロネコヤマトの宅急便」の誕生まで

- 当時の常識
  - 「小口荷物は、集荷・配達に手間がかかり採算が合わない。小さな荷物を何度も運ぶより、大口の荷物を一度に運ぶ方が合理的で得」
- 小倉昌男社長
  - 「小口の荷物の方が、1kg当たりの単価が高い。小口貨物をたくさん扱えば収入が多くなる」
    ⇒「クロネコヤマトの宅急便」誕生へ

参考資料：ヤマト運輸（株）HP「宅急便 40 年のあゆみ」

考えた商品・サービスが社会に受け入れられる（売れる）とどうなる？

会社が大きくなる

お金持ちになれる　多くの人を雇う　たくさん納税する

自分への見返り　社会への貢献

過去の入賞作品をみてみよう

アイディア①：第11回グランプリ
「ザ・スマート駅’sプレス」
アイディア②：第15回グランプリ
「キャッチリトリ」

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園
2013年度GP作品
「ザ・スマート駅’sプレス」

活用ガイドpp.13-14

- 車内販売がない新幹線「こだま」
- 「こだま」は各駅停車

- ウェブ申込みで、希望駅の駅弁を注文
- 停車した際に積込・受取

ほどほどの速さ・安さの旅行にも楽しみを

第11回GP作品



過去の入賞作品をみてみよう

アイディア①：第11回グランプリ
「ザ・スマート駅’sプレス」
アイディア②：第15回グランプリ
「キャッチリトリ」

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園
2016年度GP作品
「キャッチリトリ」

活用ガイドpp.9-10

- 「ちりとり」で掃除したとき、ゴミの取残しができ、一度に取りきれないという不満

- なぜゴミが残るのか形状に着目
- →床とちりとりの間にスキマができる
- →スキマがなくなる形状を考案

「しかたない」と思っていることも突き詰めて対策を考えてみることが大切

第15回GP作品



「商品」・「サービス」とは

- 商品・サービスは、どちらも、「使用することで、利用者が満足を得られるもの」
  - 商品の例1：目覚まし時計→朝、必要な時間に起きることができる
  - 商品の例2：傘→雨でも濡れない
  - サービスの例1：宅急便→荷物を相手まで（自分で運ぶ代わりに業者さんが）届けてくれる
  - サービスの例2：英会話教室→英会話のレッスンができる（英会話を教えてもらっている）

世の中にある商品・サービスのなかで、既存のものとの違いをみつけてみよう

「世の中にある商品・サービス」『そこにこめられた工夫』をみつけよう、

(1)身の回りのものについて、どのような工夫がされているか、さらに改善したい点はないか考えてみよう。

普段よく利用するもの	商品やサービスが生まれた理由	さらに改善したい点
【例】消せるボールペン	ボールペンは間違えると消せないという不便さ	インクの色が薄い
【例】インターネット予備校	オンラインでも、実際の塾や予備校のように学べる場を提供する	モチベーションが続かない
【例】フローリングワイパー	雑巾がけは、体力もいるし、雑巾を洗ったりする手間がかかる	シートが外れやすい

アイディアの種をみつけるために

- 4Fを考えてみよう

不満 **不足**

不十分 **不便**

アイディアの種をみつけるために

- 入賞作品の4F
- 「ザ・スマート駅’sプレス」
- ⇒ 各駅停車の新幹線でも車内販売があればいいのに（不足）
- 「キャッチリトリ」
- ⇒ ちりを1回できれいにとりきれればいいのに（不十分）

アイディアの種をみつけるために

- いろいろなモノ・ヒトの状況に4Fはあります
- **モノに対する4F**
- ⇒世の中にすでにある商品・サービスに対して考えてみる
- **ヒトの状況における4F**
- ⇒学生、子供を持つ親、お年寄り、働く人、一人暮らしの人、etc…

困っていることを探し、それを解決・改善する方法はないか探してみよう。

朝，つい遅刻してしまう！

- なぜ？
  ⇒二度寝をしてしまうから。
- なぜ？
  ⇒目が覚めきる前に，簡単に，時計のアラームを止めることができてしまうから。
- **改善点**
  - **目覚ましのアラーム機能を止めることが簡単にはできないようにすればよい！**

そうだ！時計が手の届かないところにあればいいんだ！

- アラームが鳴ると・・・
- 勝手に走り出してベッドから離れていって，止めるためにはベッドから出ないといけない目覚まし時計

- **ナンダクロッキー（NANDA）**

4Fを考えてみよう

何について？

例えば・・・「目覚まし時計」について

どういう４Ｆ（不満・不足・不十分・不便）か具体的に書いてみよう

どういう4F？・・・「目が覚めきる前に，簡単に，時計のアラームを止めることができてしまう」ことで、二度寝してしまい遅刻する。

アイディアを考えるために

- 改善点がないか4Fから考えてみよう
  - 4F・・・ 不便・不満・不足・不十分
- 既存のビジネスを見直そう
  - 仕組み・関係・対象など
  - 関係図など絵に描いてみると便利です
  - もっとできることはないでしょうか
- 活用ガイドも参考にしてみてください。